

大田原市いきいきクラブだより

= 第32号 =

発行日 平成30年3月1日 発行者 大田原市いきいきクラブ 印刷所 新宮印刷(株)



(平成29年5月12日 第1回役員会)

大田原市いきいきクラブ 第五十四回 定期総会開催

平成二十九年四月十七日、ピアートホールにおいて、大田原市いきいきクラブ第五十四回定期総会が、各地区の会長さん会員さんをはじめ、ご来賓の方々を迎え、盛大に開催されました。

総会では、次の方々が表彰されました。

〔功労者表彰〕

五年 若林 明氏

遅沢 泰三氏

中世古幸子氏

〔クラブ表彰〕

本年度 該当なし

総会で決定された行事は、いきいきクラブ役員の方々を中心に各地区のご協力をいただき、円滑に推進されました。今年度の役員は次の方々でした。

会長理事 木村 章穂 会計理事 鳥羽 健児

副会長理事 若林 明 理事

大川 廣 生田目慶一・鈴木 征一

工藤 明 千代田トミ・菊池 勝市

平野 秀雄 國井千恵子・伊藤 康子

高崎 清一 菊池 智子・渡邊エツ子

鈴木 作三 土谷 幸子・鈴木 義一

(女性部長兼任) 増渕 芳子 代表監事 古谷 善市

総務理事 越井 桂一 監事 井上 正男



健康に長生きを

平成29年10月1日現在での大田原市における市内の高齢者数は19,877名、高齢化率は27.58%になります。平成28年は19,298名、高齢化率は26.59%

であり、高齢化は益々加速しています。

全国的にも高齢化は進んでおり、今後介護が必要になった時に、介護をする若い人手が不足することが懸念されております。いつまでも元気で長生きであるために、健康寿命を延ばせるように、要介護状態とならないよう日頃から予防に努めることが大切です。

介護予防と聞きますと難しく感じるかもしれませんが、いきいきクラブの活動はそんな健康寿命を延ばすための方法としてはぴったりではないかと思えます。いきいきクラブの活動の目的をみますと、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めること

大田原市市長 津久井 富雄

を目的とするとあります。ここからもいきいきクラブの活動が、介護予防に大きな役割を担うことが予想できます。会員の方との運動や様々な活動を通して、いつまでも元気に過ごしていただけたらと思います。

しかし、現状では全国におけるいきいきクラブのクラブ数・会員数は年々減少しております。しかし大田原市のいきいきクラブにおきましては今年度、会員数やクラブ数が増加しまして、嬉しい限りです。

今後も高齢者の方の社会参加や健康寿命の観点からも、仕事をリタイアし時間に余裕のある方を中心に各地区のクラブに多くの方の加入を促進し、いきいきクラブがより一層盛り上がることを期待しています。

高齢期を健やかに楽しく過ごしていただくため、市といたしましても加入促進の取り組みと、いきいきクラブの活動の支援を進めてまいりますので、皆様もいきいきクラブの仲間とともに、いつまでも元気で楽しくお過ごしいただくことを念じております。

一斉社会奉仕の日

老人クラブでは、毎年6月15日(県民の日)及び9月20日(全国一斉奉仕の日)の年2回を定め、県下一斉に奉仕活動に取り組んでおります。

各クラブは、公共施設の清掃・美化・緑化、生活道路・空地を利用した花壇作り、道路の除草・草刈り・空カン拾い、福祉施設への慰問等、様々な社会奉仕活動で地域社会に積極的に貢献しています。6月15日実施分は桜木沢いきいきクラブ、9月20日実施分はわらぼっち・多賀の活動写真を代表的な写真として県老連に提出させて頂きました。

(県提出は作業中のものと指定されております。)



須賀川中老人クラブ



富士原ハイツいきいきクラブ



桜木沢いきいきクラブ



南金丸西部寿会



あさひクラブ



片野田老人クラブ



滝岡あじさいクラブ



平沢寿会



中野内松寿会

市いきいきクラブ 第25回ペタンク大会 第33回輪投げ大会開催 グラウンド・ゴルフ大会

平成29年5月22日(月)黒羽運動公園にてグラウンド・ゴルフ大会。6月16日(金)県北体育館にて輪投げ大会。また、7月12日(水)第一球場にてペタンク大会が開催されました。いずれの大会も各地区から多くのチームが参加し、県大会を目指して熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。

◎グラウンド・ゴルフ大会 (参加38チーム)

- 優勝 両郷老人クラブ
- 準優勝 須賀川中老人クラブ
- 第三位 赤堀西幸の会

*グラウンド・ゴルフ個人賞森田杯

(男子)

- 優勝 宇梶 功(中薄葉)
- 準優勝 岡嶋 秀男(大久保)
- 第三位 新江 重夫(金丸古町)

(女子)

- 優勝 井上 ツル(両郷)
- 準優勝 荒井ミサ子(赤堀西)
- 第三位 外池美和子(須佐木志茂)

◎輪投げ大会 (参加34チーム)

- 優勝 加治屋長寿会
- 準優勝 上薄葉わかさ会
- 第三位 薄葉第二いきいきクラブ

◎ペタンク大会 (参加28チーム)

- 優勝 三寿クラブ
- 準優勝 大久保老人クラブ
- 第三位 野崎東町自治会長寿会

グラウンド・ゴルフ 〈男子個人優勝〉



宇梶 功さん



準優勝 須賀川中老人クラブ



優勝 両郷老人クラブ

グラウンド・ゴルフ



準優勝 上薄葉わかさ会



優勝 加治屋長寿会

輪投げ

県大会出場

大田原市代表チーム

- ペタンク…三寿クラブ
- 輪投げ…加治屋長寿会
(2チーム) 上薄葉わかさ会
- グラウンド・ゴルフ…両郷老人クラブ



準優勝 大久保老人クラブ



優勝 三寿クラブ

ペタンク

栃木県老人クラブ大会

平成二十九年九月七日(木)、宇都宮市文化会館にて第三十一回栃木県老人クラブ大会が開催されました。

老人クラブ育成功労者表彰を、元市老連理事の石井小夜子氏が、優良老人クラブ表彰を下町第二いきいきクラブ(平野秀雄会長)が受賞いたしました。

石井小夜子氏は、平成十九年に神明町長寿会に入会されると同時に地区の女性部長になられ、平成二十二年から六年間、市老連理事と同時に市老連女性部長として貢献されました。

また、下町第二いきいきクラブは、昭和三十八年設立以来、スポーツ、奉仕、友愛

のいずれも積極的かつ模範的活動を継続しています。

加入促進運動においては、プラス十人増または二十%以上会員が増加したクラブとして、金丸南部寿会(竹澤武夫会長)が表彰されました。

受賞された皆様、おめでとございます。

育成功労者表彰



大田原地区いきいきクラブ
石井小夜子さん

優良老人クラブ表彰



下町第二いきいきクラブ
平野秀雄会長

加入促進運動表彰



金丸南部寿会
竹澤武夫会長

第21回

県老人クラブサークル大会

平成二十九年八月八日(火)、宇都宮市文化会館にて、第二十一回県老人クラブサークル活動発表大会が開催され、両郷地区(渡邊エツ子さん・他十三名)の皆さんが、「大阪ラブソディ」「水の黒羽」を発表してくださいました。

練習を重ねたかいあって見事に揃った踊りと、自作の鯉のぼりをリメイクした衣装が舞台に映え、とても素晴らしい発表でした。



女性部一日研修会



平成二十九年九月一日(金)、大田原市福祉センター研修室において、女性部一日研修会が開催されました。

今年の参加者は四十一名で、女性部長の増渕芳子さんに講師をお願いし、ネクタイを利用したポシェットを作りました。すべて手縫いなのですが、皆さん作り方さえ分かればどんどん先に進み、素晴らしい作品を仕上げていました。毎年のことですが、休憩無しで作り続ける集中力は、すばらしいです。



いきいきクラブ 第四十六回ゲートボール大会

平成二十九年九月十三日(水)、蛇尾川緑地公園にて、第四十六回ゲートボール大会が開催されました。

当日は曇り空のもと、各チーム共、集中力とチームワークを発揮して、一日プレーを楽しみました。

〈ゲートボール大会参加14チーム〉

優勝 須賀川いきいきクラブ

準優勝 露久保老人クラブA

第三位 野崎東町自治会長寿会A



▶優勝
須賀川いきいきクラブ



▶準優勝
露久保老人クラブA



県老人クラブスポーツ大会

平成二十九年十月十一日(水)、真岡市井頭軟式野球場にて、県老人クラブスポーツ大会が開催されました。

今大会には、県内からグラウンド・ゴルフ大会に二十五チーム、輪投げ大会に五十八チーム、ペタンク大会に二十五チームの代表チームが参加しました。大田原市いきいきクラブからも代表四チームが参加し、ペタンクで三寿クラブからも代表四チームが入賞しました。また入賞を逃した三チームともに健闘しました。(代表チームは、本誌三ページを参照)



(グラウンド・ゴルフ) 両郷老人クラブ



(ペタンク) 三寿クラブ



(輪投げ) 上薄葉わかさ会



(輪投げ) 加治屋長寿会

いきいきクラブ第16回サークル活動発表大会開催

平成29年10月13日(金)、ピアートホールにて、「第16回サークル活動発表大会」が300名の参加者でにぎやかに開催されました。

今回は初めての会場でしたが、各地区、いっそう磨きのかかった演技で観客を楽しませてくれました。とても素晴らしい発表でした。

最後は、今年も中村輝子先生が会場の皆をひとつにしてくださり、楽しい全体合唱になりました。



親園

おどり「親園草刈り踊り(唄)」
代表 村上ヤエさん(8名)



野崎

おどり「安来節」
代表 笹沼初江さん(3名)



川西

おどり「ありがたや正造さん」
代表 五月女タミさん(11名)



大田原

おどり「きよしのズンドコ節」「東京スカイツリー音頭」
代表 千代田トミさん(10名)



両郷

おどり「大阪ラブソディー」「黒羽音頭」
代表 渡邊エツ子さん(15名)



金田

おどり「女男どじょうすくい」
代表 大川 廣さん(10名)



フラダンス「ブルーハワイアン・ムーンライト」「フラガール」「マヒナ・オ・ホーク」
代表 伊藤康子さん（5名）



おどり「まつり」「好きになった人」
代表 土谷幸子さん（12名）



コーラス「冬の童話メドレー」「歌謡メドレー」
代表 伊藤和子さん（20名）
〔指揮・中村輝子先生 ピアノ伴奏・中出美代子先生〕
中村 洋子



「もみじ」「ふるさと」会場の皆さんと合唱

〈赤い羽根共同募金について〉

- ◎ 市いきいきクラブ
第46回ゲートボール大会 5,757円
- ◎ 市いきいきクラブ
第16回サークル活動発表大会 16,007円
市社会福祉協議会に合わせて21,764円の募
金を10月13日にお渡し出来ました。皆様のご協
力、本当にありがとうございました。

広報部よりお知らせ

第33号市いきいきクラブだよりは、平成31年
3月上旬発行予定です。

◆いきいきクラブ事務局
大田原市浅香3-3578-17 福祉センター内
事務局橋本まで（月・水・金の午前中）
ご用の方はお気軽にご連絡下さい。
（TEL 23-1855・FAX 23-1138）

第46回

全国老人クラブ大会



平成二十九年十月十八日
（水）～十九（木）、第四十六
回全国老人クラブ大会が京都
で開催されました。
皆様の日頃の活動のおかげ
で、大田原市老人クラブ連合
会は、優良老人クラブ連合会
表彰をいただきました。



生涯現役

中野内松寿会
石塚良太さん
大正15年9月18日生(91歳)



「継続は力なり」という言葉は巷でよく聞く言葉ではありますが、私も常に心の片隅に掲げている好きな言葉の一つでもあります。今回拙文を寄せるにあたって「継続&開花」と置き換えてみたいと思います。と申しますのは今年度両郷地区いきいきクラブ老連からGゴルフで両郷チームが県大会への出場権を得、健闘いたしました。またサークル活動においても県大会に出場し、皆で応援観覧に行きました。「苦節十年」の例え通り当いきいきクラブの友愛・奉仕・研修、各サークルの活動で全会員の協調と結束力により見事に開花が具現されたものに外ならないと感じました。

折角の機会ですので、歴史と文化の薫りが高く温かな人情味と協調性豊かな里人の住む「両郷」について記してみたいと思います。八溝山の山波の溪谷を源流とする前松葉川、後松葉川の二つの流域に抜がる肥沃な大地に「両郷村」が誕生したと聞いております。その両郷の里人から「八溝さん」と親しまれる信仰の山。その苔むす山懐から滴り出する清流松葉川の恵まれた山紫水明の大自然に育まれた里人の心は清く、温かく連帯感と協調性に富み、進取の気性の豊かさから醸成されたものと思量される歴史的芸術文化が先人達によって切り開かれたようです。

まず書道においては、豪快な書の江崎政三郎氏。優雅な筆致の渡辺道雄先生の書。次いで旧共存道場（小学校高等科修了者のための学習塾）の原田善吉先生は早稲田講義録を教材に国語、数学、歴史、習字はもとより、算盤を良くし社会奉仕の心と「積善」の尊さへの教導に力点を置き、残された書風には先生の心の崇高さを感じます。また、大森光一、良夫兄弟の書跡にも素晴らしいものがあります。現今では益子栄七会長、高崎清一事務局と同志が起した「両郷書心会」は会員五十名に及ぶ書道集団で毎月二回の研修会と会本部（日本書学館）への競書提出に励み、更には毎年六月東京美術倶楽部会館で開催される日本書学館主催の全国展に出展し、上位入選の栄を得ているところをみても先人達の書風が今に引継がれていることに少しく誇りを感じるものがあります。次いで文芸界においても古来から俳句の同好集団があり関増之助（号紫水）、大塚満（号竹台子）、小室久弥（号玄羊）の諸氏等により句会、吟行会が盛んに催され戦後の世相のきびしい中にも拘らず閑紫水の作「田も植えつ十葉の湯にひたりけり」を刊頭に三氏の作句集「葎菜」の句集の発刊をみたことは両郷俳壇の快挙であると思えます。それ等先人達に続いて、前両郷郵便局長の藤田実（号秋穂）氏は戦後中央俳壇「馬酔木」の中に多くを詠み重ね、県内外の同好者から投句を募り選句して季刊俳誌「野蒜」を発刊し送り届けておりました。

愚生も同局員で句会々員であったので刊行に関り、当時は謄字印刷でしたので「ガリ切り」やローラーのインクで黒染み乍ら会誌を刷り上げとじて、百を超す会員に発送を終えてホツとしたすがすがしい達成感を覚えたことも今にして思い返します。

画壇においては、温泉神社大宮司をついで黒羽藩のお抱え絵師となり画才を振るわれた小泉斐画伯（号壇山斐）の遺作には現今も黒羽芭蕉の館において特別企画展等の開催により内外に周知されています。次いで壇山大宮に住み地域にも美しい絵画を残された鎌田玉穂氏は昭和初期まで画筆を揮われました。更に、関谷登一郎（号雲崖）氏は南画に学び南画の原点でもある支那（現中国）に遊学するなど帝展、文展、日仏展等に入選を重ね南画院々友にものぼりつめ南画を極めた巨匠として中央画壇に出展、個展にも励む頃戦況が厳しくなり、ふるさと両郷に戻り地域の人々の求めに応じ数多くの名画を残されております。この様に歴史と文化の薫り高く住む人の心温かい両郷に生れ育ち、今生きて一人として自然豊かな環境が変ることなく未来に継続されることを信じ、私事ではありますがGゴルフ、書道、陶芸、水彩画などの継続と何よりも健康寿命の維持をより永く、より高みを希求して精進できることを念じながら筆を置きます。



市産業文化祭作品展示
平成二十九年十一月四日〜五日（県北体育館）